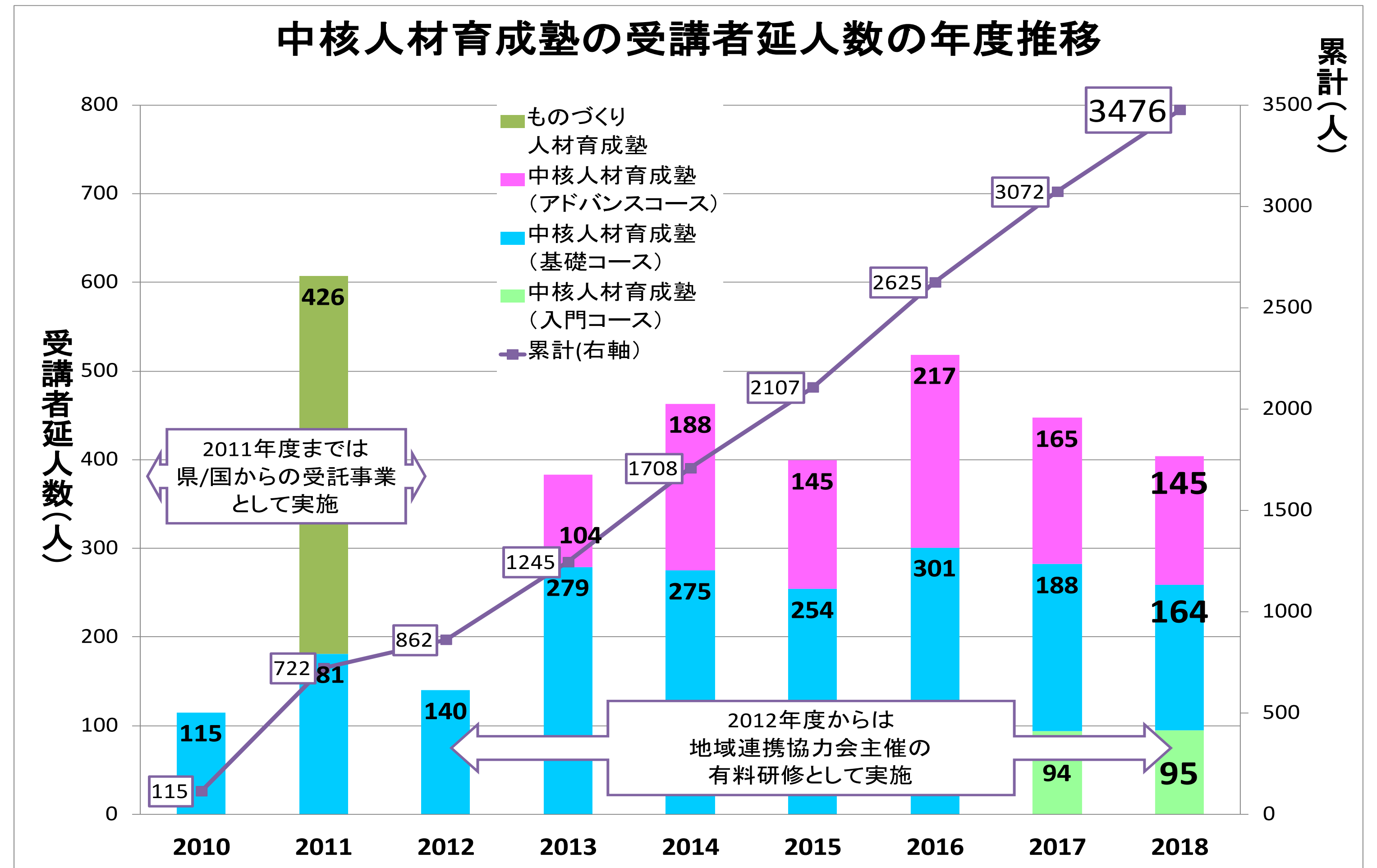


■ 中核人材育成塾の経緯

- 2010年度から開講（9年目）。
- 2011年度までは国/県からの受託事業（受講料無料）。
- 2012年度からは地域連携協力会主催の独自事業として実施（有料化：商業ベースのセミナーより低額受講料）。
- 2013年度からは専門性を深めていただく「アドバンスコース」を開講。
- 2017年度からは企業経験の浅い方を対象にした「入門コース」を開講。2018年度は入門コースを2回実施。
- 講師は企業での実務経験豊富な岐阜高専OBが産学官連携アドバイザーとして担当。
- 現在、中核人材育成塾の運営に参加している産学官連携アドバイザーは12名。



■ 2018年度の中核人材育成塾

- 入門コースの実施状況（4月～7月開講）

講座名	開催日	時間	講師(*)	受講企業数	受講者数
コミュニケーション力を鍛える	4/26	2	坂井善幸 (E3)	18	48
5Sと見える化の進め方	・	2	向井軸郎 (M3)		
安全衛生・廃棄物取扱の基礎知識	6/28	2	三口栄一 (M1)		
成果をあげる仕事術	5/17	3	廣瀬満浩 (M6)	18	47
グループ討議	7/13	3	中居仁司 (M7)		

18社から延べ95名受講
(各開催日平均 23.8名)

5講座のコースを2回実施。
第1回：4/26・5/15
第2回：6/28・7/12

- 基礎コースの実施状況（4月～7月開講）

講座名	開催日	時間	講師(*)	受講企業数	受講者数
初歩から始める品質活動	4/19	6	中居仁司 (M7)	19	26
5Sと見える管理で理想の工場づくり	5/10	6	桑原喜代和 (M1)	19	32
製造現場における問題解決手順	5/24	6	高津正吉 (E1)	22	34
環境問題への取り組みと廃棄物の処理	6/7	6	三口栄一 (M1)	15	20
トヨタ流モノづくりの基本と実践	6/21	6	大岩光司 (E1)	19	29
計数感覚とコスト意識を高める	7/5	6	奥野 泉 (E2)	18	23

28社から延べ164名受講
(各開催日平均 27.3名)

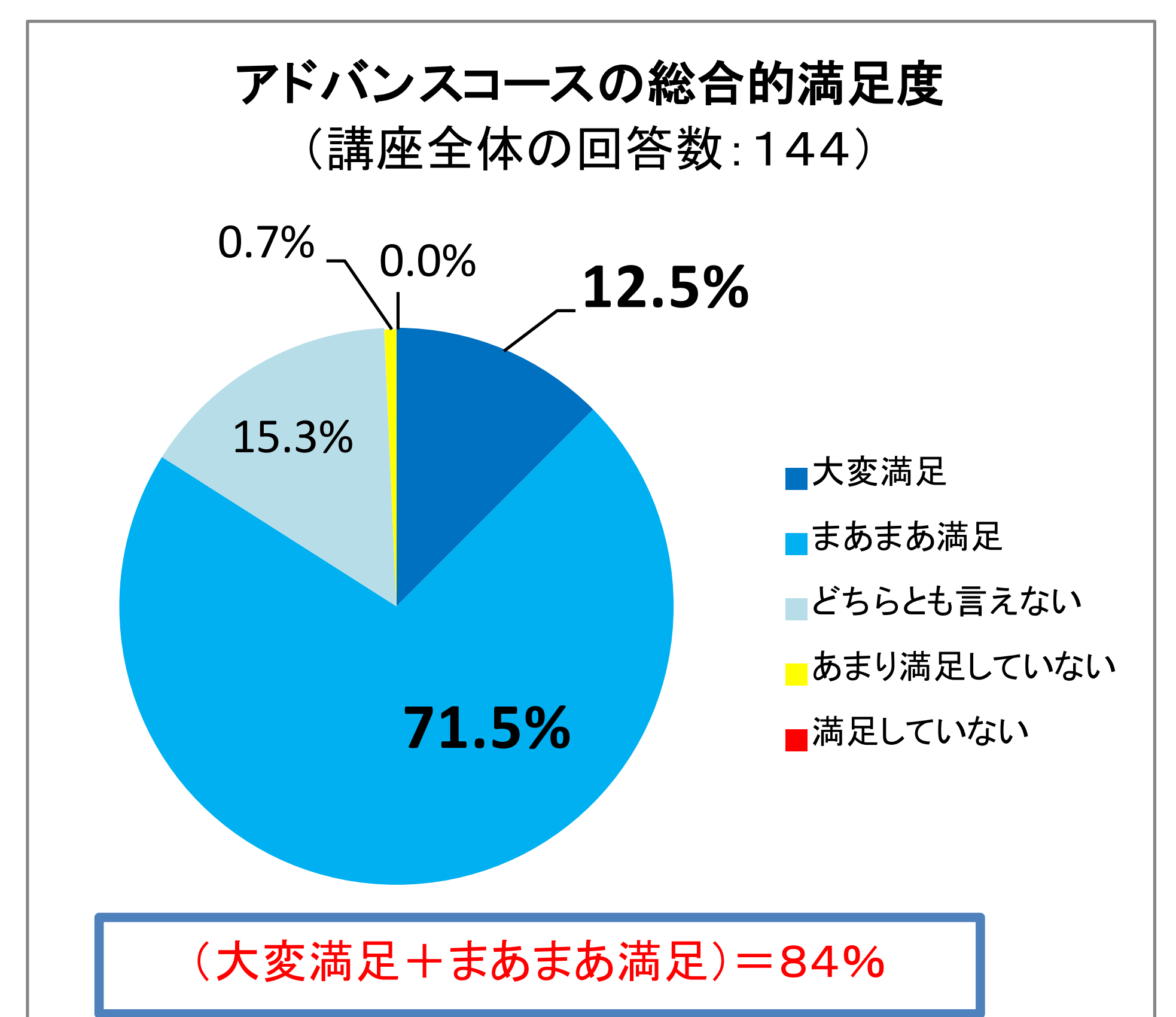
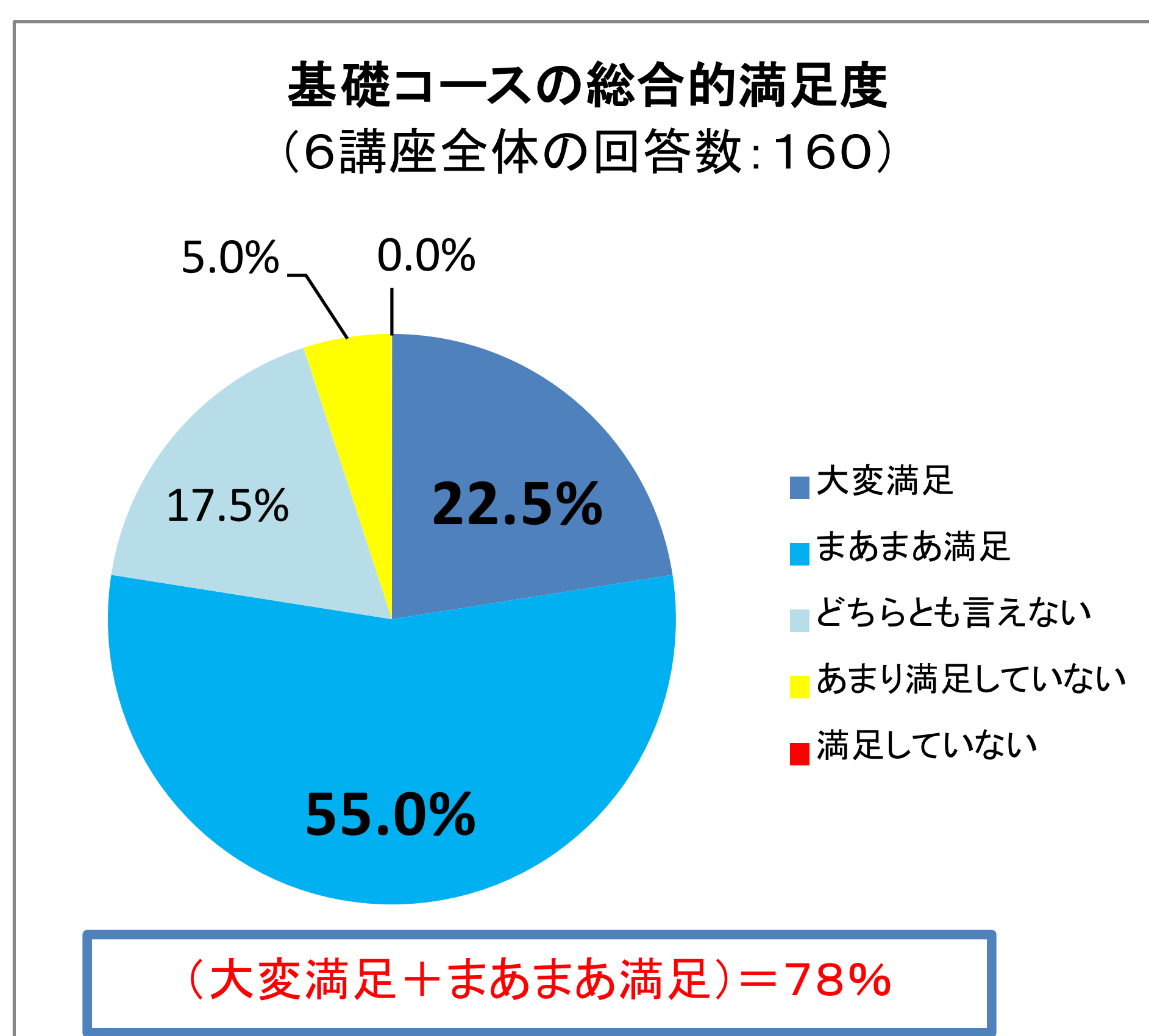
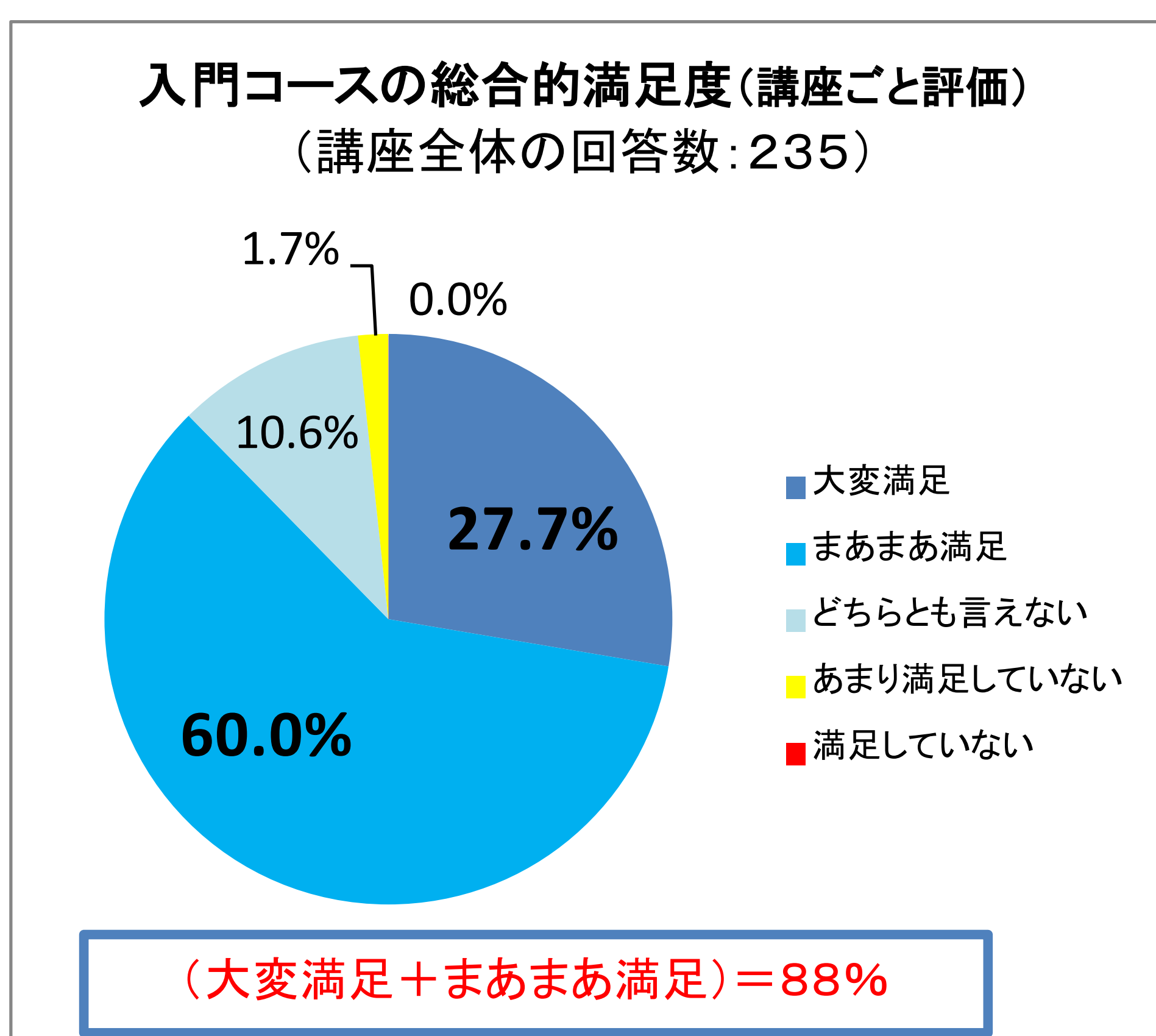
- アドバンスコースの実施状況（8月～10月開講）

講座名	開催日	時間	講師(*)	受講企業数	受講者数
生き活きとした職場の作り方	8/2	6	高津正吉 (E1)	15	27
ものづくりの仕組みと生産管理・改善技術	8/23	6	桑原喜代和 (M1)	13	28
新製品・新部品の垂直立上げ手法	9/6	6	坂井善幸 (E3)	12	21
生産設備改善によるコスト削減	9/20	6	向井軸郎 (M3)	12	22
安全行動力を育てる	10/4	6	大岩光司 (E1)	14	27
役にたつ原価と採算の話	10/18	6	奥野 泉 (E2)	10	20

19社から延べ145名受講
(各開催日平均 24.2名)

(*) 講師名の () 内のM1/E2等は機械工学科1期卒/電気工学科2期卒を示す。

■ 受講者アンケートの結果（2018年度）



入門コースは、受講者数が多く（47名）2回に分けて実施し、受講者と講師、受講者間のコミュニケーションの向上を図りました。これまでの基礎コースとアドバンスコースとともに受講者および所属企業からも好評をいただいています。

2019年度は中核人材育成塾の開講10年目になります。これまでの成果と反省を盛り込み、さらに充実した中核人材育成塾として継続を予定しています。